

## 美瑛富士・携帯トイレブース等点検パトロール実施報告書

(2018.6.25 改定)

実施年月日	平成 30 年 9 月 14 日	団体名／所属先	環境省東川自然保護官事務所
参加人数	5 人	報告者	齋藤 明光

NO	点検項目	結果と措置内容
1	携帯トイレブース本体 (テントの破損は無いかな、固定ロープの緩み等)	9月初旬の台風の影響により、テントブースが倒壊していた。そのため、予備のテントブースの設置をおこなった。
2	携帯トイレブース内 (汚れていないか、便座の破損はないかな等)	便座はブース内にあり、破損、汚れは見当たらなかった。
	ブース利用カウンター値	カウンター数値：3385
3	小屋周辺のティッシュや汚物の散乱状況 (ティッシュや汚物の回収数の確認、その他のゴミ散乱状況確認、回収)	ティッシュ回収数：6枚 <b>汚物の回収数：1つ</b> 美瑛富士避難小屋から 50メートルほど登山口に下った右手にあるトイレ道にて、2箇所汚物1つ、ティッシュ6枚を回収。
4	小屋内外 (損傷した箇所はないかな等)	台風の影響で、避難小屋と地面をつなぐワイヤーのネジが緩み外れていた。ネジが緩んでいたためだったので、ネジを締め直した。
5	小屋内 (清掃はされているか、放置したゴミはないか、小さなゴミは回収したかな等)	きれいに清掃されていた。小さなゴミは回収。
6	小屋配備の携帯トイレの補充	在庫：0個。 補充：0個
7	回収ボックス (白金観光センター隣のトイレ横) *鍵番号は530 (ゴミゼロ)	カウンター数値：カウンターなし
		携帯トイレの数：2つ

感想・特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の台風の影響でテントブースが倒壊していた。テントは、北西からの強風により下から巻き上げられて倒壊したと考えられ、昨年に引き続き台風によるテントブースが倒壊したことから、次年度以降の設置場所を変更する等検討が必要である。</li> <li>・9月初旬の台風から9月14日まで2週間ほどあったが、小屋周辺のティッシュや汚物の散乱は少なかった。震災等の影響もあり登山者数が少ない可能性が考えられる。</li> <li>・作業日の登山者は、行きに1名、帰りに2名、作業中の避難小屋利用者は、2名であった。</li> <li>・白金観光センターの公衆トイレが使用禁止となっていた。</li> <li>・白金観光センター隣の回収ボックスの鍵を設置した。(鍵番号 530)</li> </ul>

参加者名 (※はリーダー)

環境省北海道地方環境事務所施設整備課 田畑補佐、上川自然保護官事務所 榊首席自然保護官、東川自然保護官事務所 齋藤※、渡邊自然保護官補佐、その他1名

●実施後、速やかに写真を添付し、メール(hokkaido@yamatoilet.jp)にて報告のこと



仮設トイレ倒壊



便座は無事



避難小屋のワイヤーのネジを締め直し



携帯トイレ0個



再設置作業



再設置完了



カウンター数



白金観光センター隣回収ボックス (鍵設置)